

稲作だより 第2号

令和4年8月発行
福岡市農業指導センター

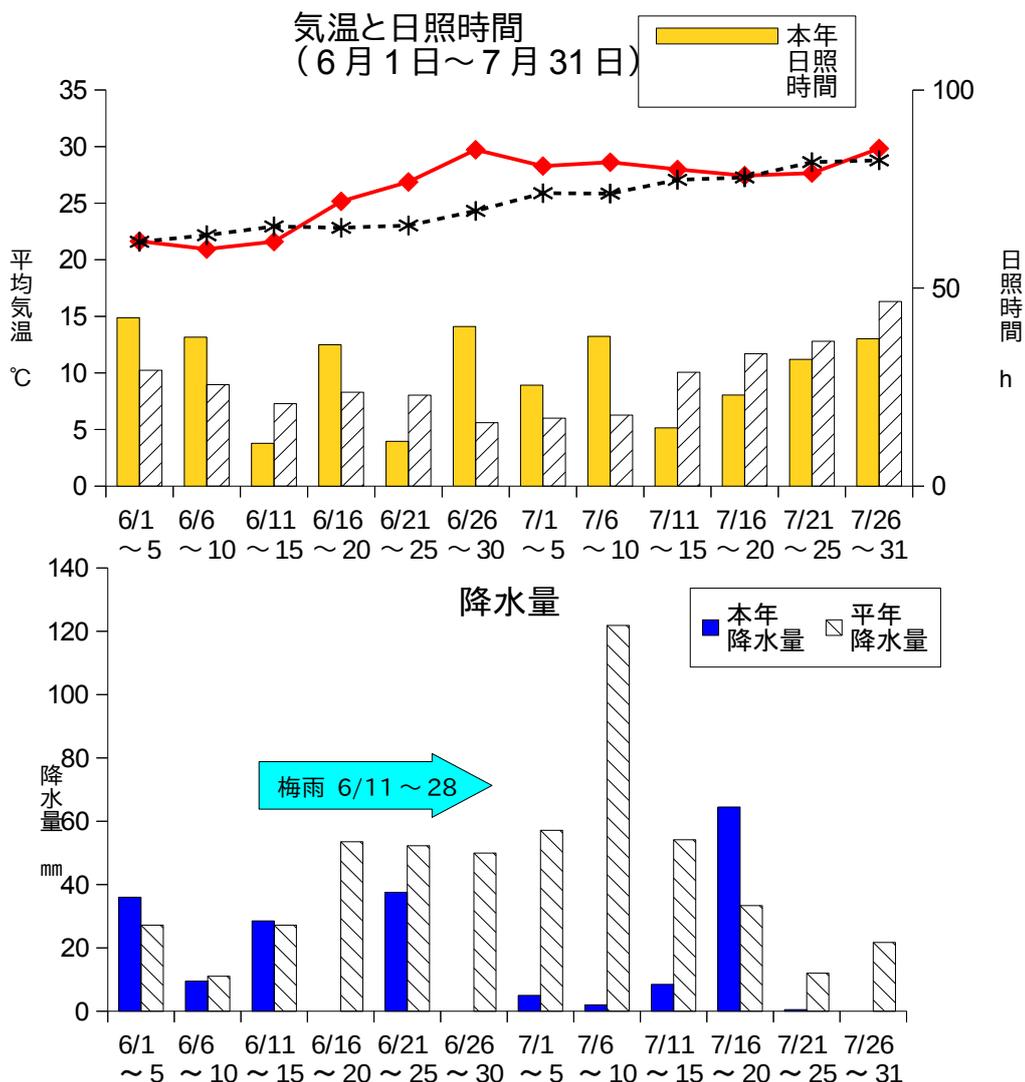
北部九州の梅雨明けは統計開始以来、最も早い6月28日頃となり、7月以降も平年に比べ高温・少雨傾向が続いています。一部地域では灌水量が不足しており、分けつ数が少ない田んぼがあります。今回の稲作だよりでは、出穂期前後の管理と夢つくし・元気つくしの収穫適期等についてお知らせします。



1. 気象及び生育概況

- ・気象概況 降水量が非常に少なく、平均気温は平年を上回りました。
- ・早期水稻 概ね生育順調で間もなく収穫期を迎えます。
- ・普通期水稻 一部地域で水不足による分けつ不足、水田雑草の発生が見られます。

	6月1日～7月31日 (観測地点: 前原)				
	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (h)
令和4年	26.4	30.7	22.9	192.0	348.4
平年値	25.1	29.1	21.8	521.5	318.7
平年差	+1.3	+1.6	+1.1	▲ 329.5	+29.7



2. 水管理

農業用水が不足している地域が発生しています。利水調整に関して地域内で十分協議し、農業用水の有効利用に努めて下さい。

1) 出穂期前後の水管理

最も水が必要な時期です。出穂前後1週間は浅水管理を徹底しましょう。

2) 出穂1週間後から収穫期まで

早期の落水は行わず、可能な限り収穫間際まで間断灌水を行いましょう。

3) 台風対策

脱水・倒伏を防ぐため可能な限り深水管理を行い、台風後は水を入れ替え、間断かん水を行いましょう。

3. 出穂期及び収穫適期予測

高温の影響から、出穂期・収穫期が例年に比べ数日早まっています。今後も高温が続くことが予想されますので、生育状況を注意深く観察して下さい。

1) 早期 夢つくし (5/20 植えまで)

8月21日頃が収穫適期見込です。

2) 普通期 水稲

夢つくし・元気つくしの収穫適期は下表の通りです。

	夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ	実りつくし	ヒヨクモチ	夢あおば	ツクシホマレ
田植え日	6/1	6/10	6/10	6/20	6/20	6/20	6/20
	6/10	6/20	6/20				
出穂期 予測	8/3頃	8/14頃	8/23頃	8/31頃	9/3頃	8/22頃	9/2頃
	8/8頃	8/19頃	8/25頃				
収穫適期 予測	9/5頃	9/21頃					
	9/10頃	9/27頃					

ヒノヒカリ以降の収穫期は
次号でお知らせします！



4. 病害虫の発生状況と対策

1) トビイロウンカ

7月下旬の調査では、**例年に比べて発生は少ない状況**です。1株あたり1頭以上の発生がある場合は防除を検討しましょう。防除適期は、8月下旬です。今後も注意深く観察して、発生情報を確認して下さい。

一昨年7月下旬は、10株あたり1～2頭の発生が見られ、収穫期直前に大発生し大きな被害をもたらしました。今年も引き続き注意しましょう！



【トビイロウンカ】



【斑点米カメムシ】



【イネカメムシ】



【コブノメイガ】



【葉いもち病】



【紋枯病】



2) 斑点米カメムシ・イネカメムシ

田んぼの中での発生は少ない状況です。出穂10日前までは、こまめな草刈を行いましょう。防除適期は、穂揃い期から7～10日後です。イネカメムシが多い場合は、グリーンセンターにご連絡下さい。

3) コブノメイガ

一部の田んぼで食害は見られますが、収量への影響は殆どないことから、防除は不要です。

4) いもち病

全体的に**発生は少ない状況**ですが、中山間地や平坦地の一部の田んぼで発生が見られます。また、乾燥した田んぼに水が入ると肥料を急速に吸収することから、いもち病が発生しやすい環境になります。上位葉に発生がある場合は「穂いもち」に進行する恐れがあります。

防除が必要な場合は、出穂直前（ジャンボ剤は5日前まで）に行いましょう。「穂いもち」に進行してからの防除は効果が劣ります。

5) 紋枯病

一部の田んぼで発生が見られますが、全体的に発生は少ない状況です。高温時に発病が増える傾向がありますので注意して下さい。

5. 収穫期・収穫時の留意事項

下記の条件の場合、農産物検査において等級格下げの原因となります。

1) 胴割れ（立毛胴割れ）

早期落水や刈り遅れの場合に、立毛の状態で胴割れが発生します。特に高温年の刈り遅れは発生が多くなります。可能な限り収穫間際まで間断灌水を行いましょう。

2) ヤケ米

収穫した籾を長時間、炎天下にさらしたり、コンバイン袋に入れて放置しているとヤケ米が発生します。収穫後は出来るだけ速やかに乾燥機に入れ送風にしましょう。

3) 稲こうじ病

稲こうじ病菌の損傷を受けたものは「規格外」となります。発生が多い田んぼの収穫乾燥は別に行いましょう。

4) 雑草種子

雑草種子の混入は、等級格下げ（殆どの場合が規格外）になります。色彩選別機でも完全に除去するのは困難ですので、種子が落ちる前に抜き取りましょう。

【胴割れ米】



【稲こうじ病】



【クサネム】



【ナガボノウルシ】



コンバインによる農作業事故
に注意しましょう！



稲の生育・病害虫発生状況は圃場毎に異なります。十分に観察を行い状態を把握しましょう。今後の情報については、引き続き「稲作だより3号」「携帯版稲作情報」でお知らせ致します。